

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	保育所等訪問支援 六甲ふくろうの家		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 10日		～ 2026年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2026年3月 24日		～ 2026年 3月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	2026年 3月 10日		～ 2026年 3月 19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月26 日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を生かした助言、相談	保護者より本人の困り感をよく聞き取ることで、児童発達支援利用時の様子と合わせて分析を行う。それをもとに訪問し、訪問先に合った支援や困り感の解消のための手だてを提案する。	訪問先の考え方や支援方法を事前に聞き取ることで、個別支援計画もそれを入れ込んで作成し、訪問時により実態に合った助言を行う。
2			
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者、訪問先へ共感的な態度、わかりやすい説明	訪問の機会が少なかったため、信頼関係の構築や「気軽に相談できる」関係性まで達していなかった。	訪問の回数を重ね、信頼関係を作る。保護者、訪問先が納得感を持って助言を受け入れられるように、説明の仕方を工夫する。
2	個別支援計画の説明	個別支援計画の書式が新たなガイドラインに沿ったものではなかった。また、いろいろな相談の中で個別支援計画の提示となってしまう、明確な説明ができていなかった。	ガイドラインに沿った個別支援計画の作成をし、わかりやすく説明を行う。
3			